

PFAS 地下水汚染。横田基地が汚染源か。

多摩地域での地下水汚染が深刻で、多くの住民の血中濃度が飲水の基準値を超えていると言われています。極めて深刻な問題で、汚染源の一つと有力視されている横田基地への対応を強く求めています。

子どもの学習支援事業が西砂でも実現！

利用待ちが出るほど好評な中学生の学習支援。市内4か所で実施しており、何年も前から拡充を要望してきましたが、なんと今年度は新しく西砂学習館でも実施されることになりました！今後もオンラインでの実施の拡充など、もっと多くの子どもたちが利用できるように求めています。

砂川学習館の建替え、砂川の歴史コーナーを誘導方向性で実現！

歴史展示コーナーを誘導方向性で建て替えが実現しました！砂川らしさを磨ける新学習館を期待します。

市役所の非正規職員の報酬引き上げを！

市長や私たち議員を含む市役所職員たちの報酬の引き上げが行われました。しかし、非正規職員の報酬は増えなかった。そのような不公平な待遇に不満として反対した非正規職員の待遇に改善を求めています。



立川市議会議員

山本ようすけ

緑たちかわニュース No.13

発行日：2023年6月15日 発行・連絡先：〒190-0011 立川市美和町2丁目19-1
TEL：080-5650-7833 Email：lyonmoyou@gmail.com

「もっと市政のことを面白くわかりやすく伝えたい！」

「アニメとまんがの街『立川』をもっと押し出したい！」

「忙しすぎてゲームの世界に逃げたい！」

そんな思いが高じて、議会報告がゲーム風に！

この1年で議員として取り組んだことや関わったことの一部を紹介しています。是非、お住まいの地域で市政がどのように関わっているか、少しでも興味を持つきっかけになればこの上ない幸いです。



たちむにい稼働開始！

新清掃工場が稼働しました。廃却物の発電で市役所の電力も抑えることができます。エコで環境負荷の少ない運営を期待しています。

オスプレイの飛来が心配です

今年1月からオスプレイが飛来。これほどの住宅密集地での訓練飛行は例がありません。市民の懸念を踏まえ、市議会として、「市民への安全への配慮を求める意見書」を国に提出しました。

歴史民俗資料館を視察！

立川の歴史を学ぶと共に、歴史を残していくための体制、実行していた歴史民俗資料館をどのように残していくか、考える大きなきっかけになりました。

多摩川のプラスチック汚染…

日野橋や立田橋付近の島からほぼ100%プラスチックが検出されたことです。市としてプラスチックの排出や使用を削減するような施策を求めます。

若葉台小の雨漏り問題

一昨年の開校間もない頃に発生した校舎の雨漏り。原因の解明と修理事業費によってきちんと負担されることを確認しました。

五小の増築工事が完了しました

35人学級に対応するため、五小の教室増築工事が完了しました。大型の工事車両の出入りの難点も地元の方から寄せられ、丁寧な対応を行って、配慮に努めながらの工事となりました。無事完了し安心です。

インクルーシブ公園が実現！

障害を抱えていても楽しめる、インクルーシブ遊具を緑中央公園で導入することになりました！22年の6月議会でも導入を求めたので、大変嬉しいと思います。

おまけ(小中学生のみんなへ)

とがあるよ！
小学校 中学校
自分の通っている学校を見つけてみよう！

横田基地

西砂学習館

西武三川駅

大正橋

大宮砂川駅

砂川学習館

五日市町

五小と大宮

砂川七番駅

東武砂川駅

五小

市役所

南砂川駅

南砂川駅

南砂川駅

南砂川駅

南砂川駅

南砂川駅

南砂川駅

南砂川駅

南砂川駅

南砂川駅

南砂川駅

南砂川駅

南砂川駅

新奥多摩町

砂川

砂川

砂川

砂川

砂川

砂川

砂川

砂川

※この市政報告は誰かが有権者団体、生活に困窮されている方の仕事のために、また有志ボランティアなど、様々な人たちにサポートいただいています。それぞれのペースやタイミングで負担のないようにお配りいただいていることもあり、配布時期が発行時期より大きく遅くなってしまうこともあります。ご了承ください。

市政にアニマルウェルフェア(動物福祉)の考えを!



世界では犬猫以外にも動物の幸福や苦痛を和らげる考えが広がっています

日本における動物愛護政策といえば、ペットや犬猫ばかりが対象です。一方、世界では家畜や野生動物などに対しても幸福や苦痛をなくしていく観点が重要視されています。

EUでは、養鶏や養豚、ウサギなどが動き回れないケージは動物の苦痛が大きく、段階的に禁止する動きが広がっています。こうした観点を行政も取り入れていくべきだと考えます。



学校給食で動物福祉に配慮した食材を1食からでも導入して欲しい!

身動きの取れないケージや檻ではなく、広々としたところで幸せな環境で育てられた動物の肉や卵を学校給食に導入できないか、食育の観点からも重要ではないかと提案しました。

現時点では平飼卵などの認証などの問題から、簡単に実現できないとの答弁でした。しかし、今後まずは年に1食からであっても、導入してもらえるように声を挙げていきます。

気候変動、待ったなし! 早急な対策を!

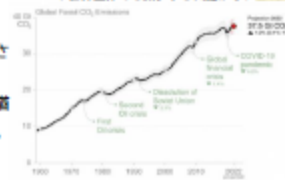


世界のCO2排出量
↓ 世界全体でも減少する気配がない

もう残された時間がない!

世界の気温を1.5℃上昇を抑えるためには2030年までに温室効果ガス排出量を半減(2019年比)する必要があります。仮にこれが達成できたとしても、気候変動の影響は一定程度は避

けられないとされています。もう一刻の猶予もありません。



気候市民会議の開催など、国や都の指示待ちではなく、先んじて対策を!

「気候変動は世界全体のことであり」と国や都からの指示が下ってくるのを待つべきではありません。この先1年、2年の取り組みが大切です。国や都に先んじて、気候市民会議の開催など、踏み込んだ対策を求めました。

残念ながら市行政としては、国や都の方針が示されるのに従うというスタンスでした。大変もどかしく感じますが、めげることなく引き続き、危機感を行政に持ってもらえるように訴えていきます。

日々の活動



歴史民俗資料館

プラスチックごみ減量対策の促進を!



私たちは週間にレジストカード1枚(1g)のプラスチックを回収していると言っている...

多摩川の源流の魚からもプラスチックが検出...

環境NPO団体が多摩川の流域で魚のプラスチック摂取状況を調査したところ、日野橋や立目橋付近の魚からはもちろん、源流域のヤマメやイワナなどからもほぼ100%プラスチックが検出

されたとのこと。人の立ち入らない源流域も土留めネットや登山者からの投棄などによって、プラスチックが流出しているのではないかとのこと。ショッキングな結果です。

より踏み込んだプラスチック減量施策を実現してほしい!

プラスチックによる環境汚染を少しでも抑えるためには行政の減量政策が最も重要です。プラスチックごみを減量するために、給水スポットの増設でマイボトルを促進したり、公共施設に

ゴミ箱を設置して、路上ポイ捨てを少しでも減らす、教育における啓発の拡充等を要望しました。



1 熊鷹川と多摩川合流地帯付近で拾ったゴミ。やはりプラが多い

生ごみをたい肥にしてごみ減量&農業支援を!



燃やせるごみの3割~5割は生ごみで水っぽいから焼却負担が大きい

燃やせるごみの約3~5割近くは生ごみです。また、生ごみの7割~8割近くは水分で、処分により多くの燃料を必要とするため、焼却炉の負

担や気候変動対策の観点でも好ましくありません。



生ごみの削減率 約14%
資源物削減率 約12%
立川市一般廃棄物処理基本計画(2023)より

その一方、肥料価格は高騰...農業を圧迫しています

日本では肥料の多くを輸入に頼っており、肥料価格の高騰が深刻です。農業を圧迫し、また購入補助をしている行政の財政負担も少なくあ

りません。また、日本の食料安全保障という観点からも、輸入に頼ることなく、たい肥や肥料の自給が必要だと考えています。

市の生ごみたい肥事業を拡充してたい肥の増産を!

大山団地で実施されている生ごみたい肥化の事業を他地域でも導入し、市内の生ごみの削減とたい肥の生産を提案しました。

現在、他市の取り組みを研究しながら、拡充を検討しているという前向きな答弁が得られました。今後の進展に期待しています。

山本ようすけ(立川市議会議員)

1990年11月6日 武蔵川市で生誕。桜城育ち
2009年 立川高校卒業
2014年 一橋大学 社会学部 卒業
外資系コンサルティング会社に就職
2018年 立川市議会議員選挙に立候補。初当選(1,288票)
2022年 立川市議会議員選挙。二期目の当選。(2,082票)
東京都在住



【現在の所属】
立川市議会・議会運営委員会、文教委員
立川市青少年奨励協議会
その他:NPO法人さんきやうハウス理事
緑の党グリーンズジャパン
気候危機・自治体議員の会(呼びかけ人)
筑芳会(立川高校同窓会)会員

【趣味】
歴史、博物館や美術館に行くこと
登山、散歩、ゲーム、子どもと遊ぶこと

各種SNS等「山本ようすけ」で検索!

